

気迫あふれる全カプレー

町民スポーツ大会結果

スポーツへの興味・関心を高め、町民の健康増進を図ろうと、町民スポーツ大会が開催されています。各会場で行われた熱戦の結果は次のとおりです。
※敬称略



ゲートボール

- 優勝 大網クラブ
- 準優勝 ヤギノ
- 第3位 本宿クラブ

その他の結果は広報8月号でお知らせします。
閩スポーツ振興課
☎(72)5708

バレーボール

- 優勝 大網マーベラス
- 準優勝 ソフィアクラブ
- 第3位 増穂パワーズ



弓道

- ▶近的
 - 優勝 吉田 幸司
 - 準優勝 佐久間 知弥
 - 第3位 川井 隆
- ▶板割
 - 優勝 井良沢 朝夫
 - 準優勝 渡邊 友加里
 - 第3位 渡邊 裕馬
- ▶風船割
 - 優勝 斉藤 誠
 - 準優勝 安延 春彦
 - 第3位 高山 幸一
- ▶金的
 - 優勝 小松 豊
 - 準優勝 日南 美佐男
 - 第3位 斉藤 誠



テニス

- ▶男子シングルス
 - 優勝 西村 慶二
 - 準優勝 中津川 哲雄
 - 第3位 荒木 繁
- ▶60歳以上男子ダブルス
 - 優勝 村山・山田組
 - 準優勝 西村・堀内組
 - 第3位 浜田・米田組
- ▶一般男子ダブルス
 - 優勝 戸高・西村組
 - 準優勝 中津川・森組
 - 第3位 北田・内山組
- ▶一般女子ダブルス
 - 優勝 川西・金子組
 - 準優勝 伊藤・谷口組
 - 第3位 加藤・本下組
- ▶混合ダブルス(Aクラス)
 - 優勝 西村・川西組
 - 準優勝 篠崎・森組
 - 第3位 田中・伊藤組
- ▶混合ダブルス(Bクラス)
 - 優勝 馬栄・濱田組
 - 準優勝 堀内・堀内組
 - 第3位 横野・関谷組



柔道

- ▶小学1・2年生
 - 優勝 川上 恵未
 - 準優勝 熱海 桃羽
 - 第3位 猪野 輝翔
- ▶小学3・4年生
 - 優勝 石井 温大
 - 準優勝 横田 武蔵
 - 第3位 吉岡 大成
 - 荒張 寛人
- ▶小学5・6年生
 - 優勝 林田 尚久
 - 準優勝 松永 洸人
 - 第3位 内山 諒亮
 - 石丸 直輝
- ▶中学1年生
 - 優勝 津田 侑太郎
 - 準優勝 盛田 英樹
 - 第3位 早坂 元稀
 - 丸島 英樹



- ▶中学生男子軽量級
 - 優勝 川口 賢治
 - 準優勝 谷口 隼希
 - 第3位 宮尾 天一郎
 - 椎名 一輝
- ▶中学生男子重量級
 - 優勝 齊藤 圭亮
 - 準優勝 山田 涼太
 - 第3位 花澤 健司
 - 清水 甲斐人
- ▶中学生女子
 - 優勝 齋藤 優花
 - 準優勝 鶴岡 亜依
 - 第3位 佐藤 綾香
 - 菊屋 真穂

ソフトボール

- 優勝 ビッグファルコン
- 準優勝 M・A メジャーズ
- 第3位 キングギドラーズ
- 大網マリーンズ



グラウンドゴルフ

- ▶男子
 - 優勝 山田 勉庸
 - 準優勝 加藤 重夫
 - 第3位 石野 正夫
- ▶女子
 - 優勝 森田 みつ子
 - 準優勝 野老 幸子
 - 第3位 中村 ミツ

特別企画展 「いわし文化を知る」

「いわし文化」は江戸時代後期、いわしの豊漁に伴って九十九里浜に開花した文化を表現した言葉です。

町教育委員会と町文化協会の共催で、特別企画展を開催しています。当時の白里浜の繁栄をうかがわせる美術品や普段見ることのできない民俗資料を展示しています。

- ▼日時 7月3日(日)までの9時～17時
- ▼会場 保健文化センター3階ホール



「いわし文化」を知る

シリーズ⑤

近代の白里浜の様子

今から三百年程前、元禄十四年(一七〇一)四

られ、沖合に魚群を追って漁場を拡大し、浜は大漁で賑わいました。

天木村の浜には漁船三十一隻、網納屋十七棟、商

昭和に入り太平洋戦争が起こり、漁師達も戦地に送られ漁業は停滞しま

った事が、四天木の内山家に伝わる文書によって

遠く赤道直下のニューギニアまで送られた船もあり

は南今泉、北今泉の浜辺も同じでした。浜は豊漁、

復活しましたが、昭和二十三年五月、突然真亀川

不漁を繰り返す。幕末、明治を迎えます。

畔、現在のサンライズ九十九里を中心とした地に

北今泉の上代家は大地引網を二乗持っていて

米軍の実弾射撃場が設置され、九十九里沿岸及び

明治二十年代真網船、逆網船2セット四隻で、乗組員百十二名、岡働き四

沖合まで漁業禁止となり土日を除いて、連日正午

から午後六時まで高射砲機関砲、機関銃の射撃音標的を曳く飛行機の爆音が響き、昭和三十二年まで続きました。

操業の不自由な中、網

元は漁船にディーゼルエンジンを付け、網も軽くて丈夫なナイロン網に代え、魚群探知機を導入するなど科学的技術向上に取り組みました。それでも思うように操業出来ず、遂に漁業補償を求めて網元同士結束し、危険を冒して北海道までサンマ漁に出る網元もいました。

また水夫達は海員組合を結成し、旧弊を打破した労使関係を求めました。

折から京葉工業地帯の造成が進み、漁民の多くは工業労働者の道を選んだのです。漁業経営は行き詰まり、多くの網元は廃業し、白里浜から漁船も消えていきました。こうして繁栄と賑わいを誇った白里浜の漁業は、見る影もなく消え去ったのです。

文責／文化協会 鈴木茂